

支所001	項目名	国府地域活性化推進事業費		新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173	所 属 名
年度	H31	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555			
款 総務費	【10次総の施策体系】3101			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 合併後の国府地域の活性化を図ることを目的として策定された「国府地域振興プラン」や「新市域振興ビジョン」に基づき”市民と総合支所の協働”を基本とした事業を実施することにより、国府地域の活性化と振興を図る。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 活気あふれる地域の実現に向かい、次世代へ引き継がれるよう地域住民と行政が連携しながら、一体となって地域振興に取り組み、安全に安心して暮らせる、住みたいまち・住んで良かったといわれるまち「万葉のふるさと 国府」を目指す。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	306	○実施内容 ①袋川清掃事業 ②花づくりと緑化推進事業 ③協働活動支援事業 ④地域観光資源活用推進事業 ⑤国府町自治会長会先進地視察事業		
本年度要求額	1,346	○事業実績 H28年度 597千円 H29年度 308千円 H30年度 306千円		
総務部長段階査定額	1,202	【事業の内訳】		
市長段階査定額	1,202	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 雑収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額	手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 雑収入 0 その他 0		
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 1,202 計 1,202	その他 0		
行財政改革課処理欄				

支所002	項目名	国府フィッシングフェスタ実行委員会補助金		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253	所 属 名
年度	H31	国府町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560			
款 商工費	【10次総の施策体系】3202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして平成4年から始まった本事業は、市内外から多数の参加者を迎え、国府地域を代表する観光イベントとして定着してきた。 平成29年11月に水産庁から示された「水産分野における産業管理外来種の管理指針」により、ニジマスが河川へ放流することができなくなり、代替魚種への変更を求められたため、平成31年度からニジマスを在来種のヤマメへ変更し、イベント名称も「フィッシングフェスタ」に改称して継続開催する。 本事業は、豊かな自然と殿ダムの湖水を活用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的として実施するものである。			
目 観光費	【実施概要】 主 催：国府フィッシングフェスタ実行委員会 時 期：平成31年5月26日（日）＜予定＞ 場 所：袋川（鳥取市国府町楠城地内） ○ヤマメつり大会 ○マスのつかみどり（子ども対象） ○地域各種団体による特産品の販売等			
(単位:千円)	【事業実績】 H28年度 1,944千円（参加者約1,500人） H29年度 1,724千円（参加者約1,500人） H30年度 2,686千円（参加者約1,200人）			
前年度当初予算額	2,736	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
本年度要求額	2,376			
総務部長段階査定額	2,376	【事業の内訳】		
市長段階査定額	2,376	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 607 雑収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額	手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 607 雑収入 0 その他 0		
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 607 一般財源 1,769 計 2,376	その他 0		
行財政改革課処理欄				

支所003	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	新規事業	
予算書項目	文化振興費	ページ	291	
年度	H31	所 属 名		
		国府町総合支所 地域振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款	教育費	【10次総の施策体系】3301		
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目	文化振興費	国府地域では、万葉集を編さんし、因幡国守として赴任した大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。		
(単位:千円)		「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されることとなった。		
前年度当初予算額	3,000	さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であることを広く情報発信するため「万葉フェスティバル in 鳥取」として実施している。		
本年度要求額	3,400	【事業内容】		
総務部長段階査定額	3,400	共 催：新日本海新聞社		
市長段階査定額	3,400	時 期：平成31年10月20日<予定>		
		場 所：国府町コミュニティセンター		
		○短歌募集を行い、大伴家持大賞として選考、審査し表彰式などを行う。		
		また、小中高校生を対象とした短歌講座を行い、短歌の裾野を広げる。		
		【事業実績】		
		・H28年度 3,400千円 応募数3,639首（一般2,066首、児童生徒の部1,573首）		
		・H29年度 3,400千円 応募数3,990首（一般2,608首、児童生徒の部1,382首）		
		・H30年度 3,000千円 応募数3,874首（一般2,113首、児童生徒の部1,761首）		
区分		本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	680	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	0	寄付金	0
	一般財源	2,720	繰入金	0
	計	3,400	雑収入	0
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

支所004	項目名	こくふまつり開催費	新規事業	
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	293	
年度	H31	所 属 名		
		国府町総合支所 地域振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款	教育費	【10次総の施策体系】3301		
項	社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目	文化振興費	国府地域に伝わる文化を中心とした活動の成果を発表する機会を提供することにより、地域の交流及び文化活動の活性化を図るとともに地域（国府）の個性豊かな文化を育てる。		
(単位:千円)		【事業内容】		
前年度当初予算額	1,750	主 催：万葉のふる里こくふまつり実行委員会		
本年度要求額	1,750	時 期：平成31年11月3日（日）（文化の日）予定		
総務部長段階査定額	1,750	場 所：国府町コミュニティセンター周辺		
市長段階査定額	1,750	○オープニングセレモニー		
		○芸能発表会		
		○映画会		
		○こどもまつり		
		○地域の特産物バザー		
		【事業の実績】		
		H28年度 1,750千円		
		H29年度 1,750千円		
		H30年度 1,750千円		
区分		本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	350	手数料	0
	地方債	0	財産収入	0
	その他	0	寄付金	0
	一般財源	1,400	繰入金	0
	計	1,750	雑収入	0
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

支所005	項目名	生涯学習推進事業費	新規事業
予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	289
年度	H31	所 属 名 福部町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815		
款 教育費	【10次総の施策体系】1101、3101		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 社会教育総務費	青少年育成事業 学校週5日制の導入を契機に、土曜日にチャレンジスクールと称し、創作・ボランティアなど体験活動を実施している。 公民館まつり 町民の作品やサークル活動の内容の展示、発表等を2日間にわたって行ない、平成31年度で46回となる。芸能発表と文化講演会を隔年で開催し、充実した公民館まつりとなっている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	597	青少年育成事業 青少年健全育成を目的として、学園生を対象とした体験活動を中心とした活動を年間通して実施する。 (チャレンジスクール) 公民館まつり 日頃の活動の成果、一年間学習してきた成果を展示公開し広く町民に知ってもらふ。また、参加住民の交流を促進し、公民館まつりを通じて地域活性化を図れる。	
本年度要求額	617	【事業内容】	
総務部長段階査定額	585	青少年育成事業 自然散策・創作・ボランティア活動等の体験活動を実施する経費。 公民館まつり 園児・児童・生徒・一般の作品展示とPTA関係・ボランティア団体等によるテント村等の開催。※平成31年度は講演会	
市長段階査定額	585	【事業実績】	
区分	本年度予算額	青少年育成事業 平成28年度 180千円 参加者 648人 (チャレンジスクール) 平成29年度 145千円 参加者 530人 平成30年度 265千円 参加者 500人(見込) 公民館まつり 平成28年度 442千円 参加者約1,570人 平成29年度 269千円 参加者約 800人 平成30年度 254千円 参加者約 900人(見込)	
国・県支出金	0	【今後の取り組み】	
地方債	0	青少年育成事業 (チャレンジスクール)、公民館まつりともに 今後もより一層充実を図る。 【根拠計画】第10次総合計画 【条例改正等の必要性】なし	
その他	0		
一般財源	585		
計	585		
行財政改革課処理欄			

支所006	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	新規事業
予算書項目	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	305
年度	H31	所 属 名 福部町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】		
目 体育振興費	本大会は、平成31年度で33回を迎え、山陰海岸国立公園鳥取大砂丘と全国有数の生産を誇る鳥取砂丘らっきょうを全国にPRする目的で企画している。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	3,216	鳥取砂丘の自然とらっきょうの花の咲く中でさわやかな汗をながし、この大会を契機として体力づくりに励み、砂丘の里ふくべの文化、産業、観光等を広く全国に紹介し、これまでの成果と山陰海岸ジオパークの世界認定とG1マーク認証を記念し、だれでも気軽に参加できる健康マラソンを目指す。また、市の花であるらっきょうの花をアピールする。	
本年度要求額	3,216	【事業内容】	
総務部長段階査定額	3,216	らっきょうの花が咲く10月の最終日曜日(原則)にマラソン大会を開催する。	
市長段階査定額	3,216	【事業実績】	
区分	本年度予算額	平成28年度実績2,930千円 参加者1,609人(28年度より補助金) 平成29年度実績2,930千円 参加者1,752人 平成30年度見込3,216千円 参加者1,600人	
国・県支出金	0	【今後の取り組み】	
地方債	0	大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。	
その他	592	【根拠計画】第10次総合計画	
一般財源	2,624	【条例改正等の必要性】なし	
計	3,216	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
行財政改革課処理欄			

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業費	新規事業
予算書項目	地域特産物振興対策事業費	ページ	241
年度	H31	所 属 名	福部町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814 【10次総の施策体系】 2104		
款 農林水産業費	【事業の経過及び背景】 平成4年度から毎年開催されている。また、「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」が、平成28年3月農林水産省から地理的表示保護制度（GIマーク）に登録された。GIマーク登録は、生産者の自信と生産基盤の強化につながっている。		
項 農業費	【事業の目的及び効果】 生産者を中心に関係機関などが、現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議研修し、継続的な産地の維持発展を図る。また、生産者の意欲向上を図り、さらなるブランド化の定着を目指す。		
目 農業振興費	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成		
(単位:千円)	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）		
前年度当初予算額 171	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。		
本年度要求額 171	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成		
総務部長段階査定額 171	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）		
市長段階査定額 171	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。		
区分 本年度予算額	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成		
財源内訳	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）		
国・県支出金 0	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。		
地方債 0	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成		
その他 0	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）		
一般財源 171	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。		
計 171	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成		
行財政改革課処理欄	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）		

支所008	項目名	小さな拠点整備事業費	新規事業	○
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173	所 属 名
年度	H31	河原町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111			
款 総務費	【10次総の施策体系】 3202			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 河原町国英地区では、人口減少や少子高齢化が進行し、日常生活に必要な機能の維持が困難になりつつある集落が増えている。 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくため、地域住民が知恵を出し合い日常生活を支える仕組みづくり（小さな拠点）を考えることが必要となっている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域の諸課題について地域住民が自ら考え、問題解決のため取り組むことにより、今後も住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるような地域社会を作る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 小さな拠点整備事業の計画策定に係る経費を助成する。 ※補助率10/10(県間接補助2/3、市1/3)			
前年度当初予算額 0	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成			
本年度要求額 300	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）			
総務部長段階査定額 300	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。			
市長段階査定額 300	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成			
区分 本年度予算額	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）			
財源内訳	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。			
国・県支出金 200	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成			
地方債 0	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）			
その他 0	【今後の取り組み】 らっきょうの継続的な産地の維持発展のため、らっきょう生産振興大会の今後の一層の充実を図る。			
一般財源 100	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成			
計 300	【事業実績】 平成28年度 193千円 平成29年度 258千円 平成30年度 171千円（見込）			
行財政改革課処理欄	【事業内容】 ・らっきょう生産振興大会開催の一部助成			

支所009	項目名	河原城イベント企画事業費	新規事業																		
予算書項目	観光活動費	ページ	253																		
年度	H31	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課																		
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111																				
款 商工費	【10次総の施策体系】3202																				
項 商工費	【事業の経過及び背景】 河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。地域に親しまれ、地域内外からの集客を図り、地域活性化の拠点となっている。																				
目 観光費	【事業の目的及び効果】 観光客数や来場者数の減少が見込まれる中、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られる。 また、鳥取自動車道の開通に伴い県内外からの集客が図られている。																				
(単位:千円)	【事業内容・実績】																				
前年度当初予算額	1,420	「春の茶会」 内 容：大学生等によるお茶会、ステージイベント、バザー等 チャリティ事業として収益を日赤等へ寄付している。 時 期：平成31年5月																			
本年度要求額	1,646	「月見会」 内 容：バザー（ぜんざい、もちつきなど）、ステージイベント等 時 期：平成31年9月 主 催：風土資産研究会																			
総務部長段階査定額	1,646	＜実績＞																			
市長段階査定額	1,646	<table border="1"> <tr> <td>茶 会</td> <td>月見会</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,039人</td> <td>990人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>992人</td> <td>932人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>753人</td> <td>800人</td> </tr> </table>		茶 会	月見会	平成28年度	1,039人	990人	平成29年度	992人	932人	平成30年度	753人	800人							
茶 会	月見会																				
平成28年度	1,039人	990人																			
平成29年度	992人	932人																			
平成30年度	753人	800人																			
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
国・県支出金	0	行財政改革課処理欄																			
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	1,646																				
計	1,646																				

支所010	項目名	生涯学習推進事業費	新規事業
予算書項目	生涯学習推進対策費	ページ	289
年度	H31	所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 教育費	【10次総の施策体系】1101		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 生涯学習を通じて河原町地域の住民相互がふれあい、思いやりと自然を愛する心を養い豊かな人間性を育み、潤いと活力ある生活文化を図る。		
目 社会教育総務費	【事業内容】 〈第42回河原町文化祭〉 開催時期 平成31年10月25日（金）～27日（日）の3日間 会 場 河原町コミュニティセンター、老人福祉センター 委 託 先 第42回河原町文化祭実行委員会 来場者数 延べ1,900人 内 容 ・作品展 1,000点 ・音楽芸能発表会 15団体 ・バザー・茶席ほか 5団体		
(単位:千円)	※委託料内容		
前年度当初予算額	491	○報 償 費 作品出展者、出演団体、運営協力費用 300千円	
本年度要求額	491	○事務経費 消耗品、準備材料代、チラシ等費用 191千円	
総務部長段階査定額	491	【事業実績】	
市長段階査定額	491	平成28年度 10月28日～10月30日 来場者延べ1,900人	
区分	本年度予算額	平成29年度 10月27日～10月29日 来場者延べ2,200人	
国・県支出金	98	平成30年度 10月26日～10月28日 来場者延べ1,900人	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	393		
計	491		
行財政改革課処理欄			

支所011	項目名	あゆ祭補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253
年度	H31	所 属 名	河原町総合支所 産業建設課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】（地域振興特定予算） 河原町は古くから「あゆの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「あゆの町・かわはら」を広くPRするためにあゆ祭を開催している。また、夏の風物詩として定着しており、地元の経済効果も大いに期待されている。 平成30年は、7月豪雨の影響により祭りを開催することができなかったが、平成31年度、改めて、第40回の記念大会として実施し、より一層のPRにつなげる。		
目 観光費	【実施概要】 「第40回記念イベント」：あゆ釣り大会 「あゆ祭り」：あゆのつかみ取り、鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会等 主催 あゆ祭企画実行委員会		
(単位:千円)	【事業実績】 平成28年度 補助金 4,926千円 入込客数 25,000人 平成29年度 補助金 4,926千円 入込客数 25,000人 平成30年度 補助金 1,600千円(見込) 7月豪雨により未実施		
前年度当初予算額	4,926	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
本年度要求額	5,145		
総務部長段階査定額	5,145	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,145	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	954
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	954		
一般財源	4,191		
計	5,145		
行財政改革課処理欄			

支所012	項目名	用瀬地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	H31	所 属 名	用瀬町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111		
款 総務費	【10次総の施策体系】3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取市新市域振興ビジョン推進計画に基づき、市民との協働により地域づくりに取り組み、地域の活性化と市域のバランスの取れた発展を目指す。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「自然や歴史・文化を大切にしたい魅力あるまちづくり」をテーマに優れた自然、景観や伝統文化など地域資源を整備し観光資源として活用するとともに、伝統芸能の継承支援や文化芸術活動の推進等を行い魅力ある地域活性化へつなげる。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ○地域資源活用事業 用瀬町エコツーリズム推進事業（新規） 用瀬系周辺の登山道の整備及び活用事業の実施 因美線鳥取用瀬間開通100周年記念事業（新規） 開通100年を祝う記念事業の実施 地域文化芸術振興事業（継続 H28～） 児童生徒芸術交流事業 芸術家と地域の児童生徒が作品づくり等を通じて交流する。 安蔵の谷資源活用整備事業（H28～H30） 流しびなの里推進事業（H28～H30） さとやまキャンパス誘致調査事業（H30）		
前年度当初予算額	600	【今後の取り組み】 継続して地域住民のニーズ把握し、地域の整備を図る。	
本年度要求額	601		
総務部長段階査定額	601	その他財源の内訳	
市長段階査定額	601	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	601		
計	601		
行財政改革課処理欄			

支所013	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業	○																				
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173	所 属 名																				
年度	H31	用瀬町総合支所 地域振興課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111																							
款 総務費	【10次総の施策体系】3302																							
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 用瀬町地域においても人口減少と少子高齢化が進行し、地域の活性化や民俗文化の継承の危機が叫ばれている。毎年旧暦3月3日に行われる民俗文化「流しびな」は、伝統行事としてまた「流しびなの里もちがせ」の観光資源としての魅力を有しているが、制作技術の承継等が困難になっており、また、観光資源としての特性を活かしたPR活動が十分にできているとは言い難い。 積極的に「流しびな」を観光資源として、技術の承継や観光客誘致を持続可能な取り組みとして推進する。																							
目 企画費	【事業の目的及び効果】 新市域振興ビジョンに「歴史・文化の継承」を掲げ、伝統文化を資源として技術継承し、さらに観光資源としての活用に資する。文化芸術活動による異世代交流や担い手育成等により、魅力ある地域活性化へつなげる。																							
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 地域おこし協力隊の設置 1名 制作技術の習得・承継、利活用、賑わい創りに関する事業企画等																							
前年度当初予算額	0	【今後の取り組み】 地域おこし協力隊員の活動を契機に、地域住民との協働による「流しびなの里もちがせ」の振興を図る。																						
本年度要求額	3,720																							
総務部長段階査定額	3,418	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	3,418																							
区分	本年度予算額																							
財源内訳																								
国・県支出金	0																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	3,418																							
計	3,418																							
行財政改革課処理欄																								

支所014	項目名	流しびなマラニック大会補助金	新規事業																															
予算書項目	体育大会費	ページ	305	所 属 名																														
年度	H31	用瀬町総合支所 地域振興課																																
会計名	事業の概要																																	
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 用瀬町分室 0858-87-2288																																	
款 教育費	【10次総の施策体系】1103																																	
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 マラソンのように走ったりピクニック気分であいたり、自分の体力に合わせて種目を選択できる大会として開催しており、本年度で第32回目を迎える。 自分の健康を楽しみながらのんびりと参加できる手軽さから広く人気を呼んでおり、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層が参加している。 マラソン 10km・5km・3km ウォーク 3km																																	
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 市民の健康づくり及び親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里もちがせ」を広くPRすることを目的としている。																																	
(単位:千円)	【事業の内容・実績】																																	
前年度当初予算額	2,025	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">イベント名</th> <th>もちがせ流しびなマラニック大会</th> </tr> <tr> <td>・主催団体</td> <td colspan="2">もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会</td> </tr> <tr> <td>・実施場所</td> <td colspan="2">流しびなの館周辺</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成28年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>・実施日</td> <td>5/15</td> <td>5/21</td> </tr> <tr> <td>・参加人数*</td> <td>1,582人</td> <td>1,519人</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td>2,964千円</td> <td>3,082千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>5/20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,356人 (*申込人数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,908千円</td> </tr> </table>			イベント名		もちがせ流しびなマラニック大会	・主催団体	もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会		・実施場所	流しびなの館周辺			平成28年度	平成29年度	・実施日	5/15	5/21	・参加人数*	1,582人	1,519人	・総事業費	2,964千円	3,082千円		平成30年度	5/20			1,356人 (*申込人数)			2,908千円
イベント名		もちがせ流しびなマラニック大会																																
・主催団体	もちがせ流しびなマラニック大会実行委員会																																	
・実施場所	流しびなの館周辺																																	
	平成28年度	平成29年度																																
・実施日	5/15	5/21																																
・参加人数*	1,582人	1,519人																																
・総事業費	2,964千円	3,082千円																																
	平成30年度	5/20																																
		1,356人 (*申込人数)																																
		2,908千円																																
本年度要求額	2,000	【今後の取り組み】 用瀬地域の活性化対策として、より一層の充実を図る。 ※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金																																
総務部長段階査定額	2,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	330	贈収入	0	その他	0										
その他財源の内訳																																		
分担金	0																																	
負担金	0																																	
使用料	0																																	
手数料	0																																	
財産収入	0																																	
寄付金	0																																	
繰入金	330																																	
贈収入	0																																	
その他	0																																	
市長段階査定額	2,000																																	
区分	本年度予算額																																	
財源内訳																																		
国・県支出金	0																																	
地方債	0																																	
その他	330																																	
一般財源	1,670																																	
計	2,000																																	
行財政改革課処理欄																																		

支所015	項目名	用瀬流しびな行事	新規事業
予算書項目	観光活動費	ページ	253
年度	H31	所 属 名	
		用瀬町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 産業建設課 0858-87-3786		
款 商工費	【10次総の施策体系】3302		
項 商工費	【事業の目的及び効果】		
目 観光費	毎年旧暦3月3日に無病息災を願って、千代川河原で棧俵に男女一對の紙雛をのせて千代川に流す情緒豊かな民俗文化行事が実施される。行事に合わせ観光イベントを実施することにより、地域の活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	2,133	・イベント名 もちがせ流しびな行事	
本年度要求額	4,128	・主催団体 流しびな実行委員会	
総務部長段階査定額	3,936	・実施日(旧暦3月3日)	
市長段階査定額	3,936	1回目 平成31年4月7日(日)	
		2回目 平成32年3月26日(木)	
		・実施場所 鳥取市流しびなの館周辺	
		平成28年度 平成29年度 平成30年度	
		・参加者 ①8,500人 -人 5,000人	
		②6,500人 実施なし	
		・総事業費 4,181,375円 500,000円 2,283,000円(見込)	
		【今後の取り組み】	
		貴重な文化・観光資源で継続すべき民俗行事であり、内容を充実し集客と伝統文化の継承及び地域活性化を支援する。	
		【市民ニーズの状況】「流しびな行事」の継承と保存について関心は高い。	
		【その他】県の指定無形民俗文化財(用瀬のひな送り)	
行財政改革課処理欄			

支所016	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金	新規事業
予算書項目	むらづくり活性化推進事業費	ページ	239
年度	H31	所 属 名	
		佐治町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】		
目 農業総務費	平成31年度で37回目となり、総合支所・中央公民館周辺を会場に、農産物等展示即売・郷土芸能の発表・アトラクション、地元の地消地産グループの実演販売など、地域団体による実行委員会主催による多彩な行事を行う。佐治地域の秋のイベントとして定着しており、佐治地域内外の多くの方に参加を頂いている。		
(単位:千円)	【事業内容】		
前年度当初予算額	1,350	内容 第37回佐治ふるさと祭り	
本年度要求額	1,350	主催 佐治ふるさと祭り実行委員会(地域団体で構成)	
総務部長段階査定額	1,350	【事業実績】	
市長段階査定額	1,350	平成27年度 1,228千円 入込客数800人	
		平成28年度 1,283千円 入込客数1,000人	
		平成29年度 1,350千円 入込客数1,000人	
		【今後の取組】	
		佐治地域の活性化策として、より一層の充実を図る。	
		【根拠計画】	
		佐治地域振興プラン	
		【市民ニーズの状況】	
		地域住民との協働事業として根付いている。	
		※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
行財政改革課処理欄			

支所017	項目名	文化振興費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	291
年度	H31	所 属 名	佐治町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】佐治町総合支所 地域振興課 0858-88-0211		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 佐治地域の宝である「佐治谷話」を保存伝承するため、佐治民話会が佐治谷ばなし紙芝居や本の作成、小中学生への伝承活動、各地区公民館への普及活動など多様な事業を幅広く行っている。		
目 文化振興費	【事業内容】 佐治民話会による保存伝承活動への補助金 25千円 補助対象事業費・51千円 補助金額・25千円：文化財保存及び保護に関する補助金等交付要綱により事業費の1/2		
(単位:千円)	【事業実績】		
前年度当初予算額	25	平成27年度 25千円	
本年度要求額	25	平成28年度 25千円	
総務部長段階査定額	25	平成29年度 25千円	
市長段階査定額	25	【今後の取組】 佐治谷話の保存伝承活動により地域資源発信に積極的に取り組む。	
区分	本年度予算額	【根拠計画】 佐治地域振興プラン	
財源内訳	国・県支出金 5	【市民ニーズの状況】 地域資源発信活動として、今後も継続して保存伝承が望まれている。	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 20		
計	25		
行財政改革課処理欄			

支所018	項目名	芸術によるまちづくり推進事業費	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	173
年度	H31	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 気高地域では、平成26年8月に策定した「鳥取市新地域振興ビジョン」において、「芸術のまちづくり」の取り組みを進めている。 文化芸術団体である「ことり舎」は、映画塾、ワークショップを企画・運営し、気高町を舞台とした映画を撮影している。 鳥取市と鳥取県で1/2ずつ補助をして支援する。		
目 企画費	【事業の内容・実績】 浜村温泉ゆけむり映画塾 ①ワークショップ②作品撮影 実績 平成27年度作品「幻の漁火」、平成28年度作品「ここにある唄」 平成29年度作品 気高町を舞台とした『失恋』をテーマに4つのショートムービーを制作。「大タブの木のうで」・「失恋ゴースト」・「裸婦rough」・「失恋太鼓」 平成30年度作品 「はだかになったおじさん」 毎年2月頃に開催している浜村温泉映画祭で作品を上映。		
(単位:千円)	【今後の取組み】 ことり舎だけではなく、ワークショップで人材育成し、地域住民や団体と協力して「映画塾」を開催・運営していく。		
前年度当初予算額	1,000	【根拠計画】鳥取市新地域振興ビジョン	
本年度要求額	1,000	【市民ニーズの状況】 気高町を舞台として、映画塾、上映会などが開催され、芸術により、街を活性化しようという機運が高まりつつあり活動の支援へのニーズは高い。	
総務部長段階査定額	1,000		
市長段階査定額	1,000		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,000		
計	1,000		
行財政改革課処理欄			

支所019	項目名	ふるさと産業まつり(気多の市)補助金	新規事業
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	251
年度	H31	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2103、2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 浜村温泉街の活性化に向け、地域住民と商店街が一体となって浜村砂丘公園を主な会場としてバザーや子ども向けイベントを行っている。		
目 商工業振興費	【事業の目的及び効果】 地域住民の交流人口の増加と商店街の賑わいを創出し、気高地域の活性化に寄与することを目的にイベントを開催している。バザーや屋台の出店がこの日限りの賞品と出品、地域の賑わいの創出、住民の交流の場となっている。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績(過去3年)】 平成28年度より地域特産品のいちごをテーマに取り組みしており、地域の賑わいを創出している。 平成28年度 参加者1,500人 平成29年度 参加者1,500人 平成30年度 参加者1,000人		
前年度当初予算額	297	総務部長段階査定額	297
本年度要求額	297	市長段階査定額	297
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	297	手数料	0
計	297	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄	【今後の取り組み】 空き店舗の活用などによる商店街の活性化、賑わい創出を図るため、開催時期や方法などイベントの見直しを図る。		
	【根拠計画】第10次総合計画		
	【市民ニーズの状況】 定着したイベントのため、継続した事業の開催を求められている。		

支所020	項目名	貝がら節まつり補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253
年度	H31	所 属 名	気高町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】2201		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 気高町を代表する夏祭り、貝がら節踊りや民謡貝がら節のふるさとを広くPRするとともに、交流人口の拡大を図ることを目的に開催している。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 山陰海岸ジオパークエリア拡大により地域資源を再発信するなど、観光客の誘客を図り、地域住民と協働し祭りを盛り上げ、地域活性化につなげる。また、地元への経済効果の拡大や交流人口の拡大が期待できる。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績(過去3年)】 貝がら節総踊り、レーザー花火ショー、屋台村、芸能ステージ、船屋台パレードなど 平成28年度 延べ参加者 7,000人 平成29年度 延べ参加者 7,000人 平成30年度 延べ参加者 5,500人		
前年度当初予算額	3,977	総務部長段階査定額	3,977
本年度要求額	3,977	市長段階査定額	3,977
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	494	使用料	0
一般財源	3,483	手数料	0
計	3,977	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	494
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄	【今後の取り組み】 山陰道鳥取西道路の開通を見据え、年間を通して集客できるようにストーリー性を持たせ戦略的にイベントを開催していく。またイベント同士の連携も図っていく。		
	【根拠計画】第10次総合計画		
	【市民ニーズの状況】 気高町の一大夏祭りとして、定着している。今後も継続実施を望む声は多い。 ※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		

支所021	項目名	陸達大堤うぐい突き補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	253
年度	H31	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
款	商工費	【10次総の施策体系】2201	
項	商工費	【事業の経過及び背景】	
目	観光費	気高町陸達地区にある大堤池は農業用水として利用しており、毎年春に鮎を放流し、秋には池の底にたまった泥やごみなどを取り除くとともに、放流した魚を捕獲するため水抜きを行っている。この魚を捕獲する漁法が「うぐい突き」と呼ばれ、東南アジアから朱印船貿易を通じて400年以上前に伝えられたとされている。「うぐい漁」の様子は、平成25年3月から国立歴史民俗博物館に常設展示されている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	93	「うぐい突き」行事をととして、大堤池の歴史や保全の必要性、地域の伝承行事と農業の関わりなどについて、市民の関心を高め、次世代に引き継いでいくことを目的に陸達大堤うぐい突き保存会が毎年実施している。	
本年度要求額	93	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	93	稚魚放流(4月、10月) 鮎の稚魚を約200匹放流(逢坂小学校生徒参加)	
市長段階査定額	93	イベント開催(10月)	
区分	本年度予算額	平成28年度 延べ参加者 600人	
国・県支出金	0	平成29年度 延べ参加者 200人	
地方債	0	平成30年度 延べ参加者 150人	
その他	0	【今後の取り組み】	
一般財源	93	より一層地域住民のニーズ把握を図り、イベントを盛り上げていく。	
計	93	【根拠計画】第10次総合計画	
行財政改革課処理欄		【市民ニーズの状況】	
		伝統漁法の伝承を望むニーズは高く、地域住民をはじめ逢坂小学校、逢坂むらづくり協議会などと連携しながら事業継続を図っていく。	

支所022	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	新規事業
予算書項目	各種団体補助金負担金	ページ	253
年度	H31	所 属 名	
		気高町総合支所 地域振興課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011	
款	商工費	【10次総の施策体系】2201	
項	商工費	【事業の経過及び背景】	
目	観光費	浜村温泉街の再生を図るため、平成22年度から地域の活性化につなげる事業を実施し、「貝がら節のふるさと」である気高町を内外に向けてPRしている。気高町文化祭実行委員会が開催していた「気高ときめき祭り」を平成28年度から当協議会が主体となって開催し、より地域活性化を図る。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】	
前年度当初予算額	1,868	「貝がら節」をキーワードに、気高地域の発展を目指し、観光客の誘致を促進し、もって鳥取市の観光振興を図る。	
本年度要求額	1,868	【事業の内容・実績(過去3年)】	
総務部長段階査定額	1,868	≪平成28年度≫	
市長段階査定額	1,868	しょうがぼかぼかフェスタ2017 延べ参加者 4,200人	
区分	本年度予算額	気高ときめきまつり 延べ参加者 2,100人	
国・県支出金	373	≪平成29年度≫	
地方債	0	しょうがぼかぼかフェスタ2018 延べ参加者 4,000人	
その他	0	気高ときめきまつり 延べ参加者 1,960人	
一般財源	1,495	≪平成30年度≫	
計	1,868	しょうがぼかぼかフェスタ2019 延べ参加者 平成31年2月開催	
行財政改革課処理欄		気高ときめきまつり 延べ参加者 2,400人	
		【今後の取り組み】	
		浜村温泉街をはじめとする気高地域の活性化に向けて、地域住民の意見を取り入れ、より一層の活動を盛り上げていく。	
		【根拠計画】第10次総合計画	
		【市民ニーズの状況】	
		民謡「貝がら節」、浜村温泉、しょうがなど地域の特色を活かしたまちづくりの推進や新たな芸術文化による取組みに対するニーズは高く、市民と協働したまちづくり活動を推進していく。	

支所023	項目名	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金		新規事業
予算書項目	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	ページ	305	所 属 名
年度	H31	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011			
款 教育費	【10次総の施策体系】1103			
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 平成8年度より気高町長杯として開催。平成16年度の市町村合併後に気高スカロップ杯と名称変更し、鳥取市バレーボール協会主催で実施している。			
目 体育振興費	【事業の目的及び効果】 市内の中学生にトップレベルのバレーボールの実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成する。また、県外選手との交流によるレベルアップと県境を越えた親睦を深められる。バレーボールのまち気高町として町民の関心も高く、選手役員が宿泊することによる経済的効果もある。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 中国、四国各県から選抜された男女各12チームによるトーナメント戦 ○平成28年度 平成28年3月25日(土)・26日(日)480名参加 男子優勝=松江第一(島根県)、準優勝=松江第三(島根県) 女子優勝=岡山中央(岡山県)、準優勝=米子北斗(鳥取県) ○平成29年度 平成30年3月24日(土)・25日(日)500名参加 男子優勝=安来第三(島根県)、準優勝=東出雲(島根県) 女子優勝=鴨方(岡山県)、準優勝=新見第一(岡山県) ○平成30年度 平成31年3月23日(土)・24日(日) 開催予定			
前年度当初予算額	500	その他財源の内訳		
本年度要求額	500	分担金	0	
総務部長段階査定額	500	負担金	0	
市長段階査定額	500	使用料	0	
区分	本年度予算額	手数料	0	
財源内訳		財産収入	0	
国・県支出金	0	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	0	雑収入	0	
一般財源	500	その他	0	
計	500			
行財政改革課処理欄				

支所024	項目名	わったいな祭事業費		新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253	所 属 名
年度	H31	鹿野町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011			
款 商工費	【10次総の施策体系】3202			
項 商工費	【事業の経過及び背景】 住民団体と行政とが連携し、地域の活性化をめざすイベントとして、平成12年度から毎年開催。地元や近隣のグループなどが気軽に参加できる体制をつくっている。			
目 観光費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域のにぎわい創出と交流人口の増を目的に、平成30年度から例年秋に開催される地元行事(鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ)との連携を図り、住民の地域づくりの意識向上と地域経済の活性化に寄与している。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 秋の地元行事(鳥の演劇祭、週末だけのまちのみせ)の主会場となる、城下町地域での盛り上げイベントや、特産物等の即売を行う「鹿野ええもん市」、文化団体等による作品展覧会を開催。			
前年度当初予算額	2,279	その他財源の内訳		
本年度要求額	2,277	分担金	0	
総務部長段階査定額	2,143	負担金	0	
市長段階査定額	2,143	使用料	0	
区分	本年度予算額	手数料	0	
財源内訳		財産収入	0	
国・県支出金	0	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	0	雑収入	0	
一般財源	2,143	その他	0	
計	2,143			
行財政改革課処理欄				

支所025	項目名	街なみ修景整備推進費	新規事業
予算書項目	街なみ環境整備事業費	ページ	267
年度	H31	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	土木費	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011	
項	都市計画費	【10次総の施策体系】4203	
目	都市計画総務費	【事業の経過及び背景】 平成6年当時、鹿野の特徴である城下町地区で建替えられる住宅が、従来の和風基調ではなく、洋風の近代的なものが目立ち始め、街なみ景観の悪化が懸念されていた。また、当時の来訪者は温泉入浴を目的に訪れるものの、地域内消費に結びつかない状況であった。これらの問題を解決するため、平成6年に基本整備構想「四季薫るまち鹿野」を策定。以降、城下町の街なみを活用しながら、さまざまな観光資源との連携を図り地域活性化を図っている。	
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】 景観に優れた住環境を創出し、住民が誇りをもって定住できる街にするため、城下町の特徴をふまえながら、住民と行政の協働により『鹿野祭り』の似合う和風の街なみ景観の整備・保存の取り組みが進んでいる。	
前年度当初予算額	124	【事業の内容】 平成28年度 24千円 (アドバイザー会議報償費) 平成29年度 143千円 (施設修繕費) 平成30年度 446千円 (施設修繕費、委託料)	
本年度要求額	124	【今後の取り組み】 街なみ環境整備事業の該当区域は、平成19年度施行の鳥取市景観形成条例で「鹿野城下町景観形成重点区域」に指定。住民と行政の協働により、街なみ景観の整備・保存の取り組みを継続して行う。	
総務部長段階査定額	100	その他の財源の内訳	
市長段階査定額	100	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	100		
計	100		
行財政改革課処理欄			

支所026	項目名	町民音楽祭開催費	新規事業
予算書項目	市民音楽祭開催費	ページ	293
年度	H31	所 属 名	鹿野町総合支所 地域振興課
会計名	一般会計	事業の概要	
款	教育費	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011	
項	社会教育費	【10次総の施策体系】3301	
目	文化振興費	【事業の内容】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数の住民が参画しながら継続して開催され、鹿野発の鳥取市民ミュージカルとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。活動着手以来33周年を迎え、活動のさらなる定着を目指して地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、多くの市民の参画を得ながら自主的に企画・制作・運営を行っている。 制作期間は約半年間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、今後の良好な市民コミュニティづくりに於いても貢献できることが期待される。 地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等を総合的に支援するため継続した活動補助を行う。	
(単位:千円)		*平成31年度事業	
前年度当初予算額	2,650	【事業名】 第33回鹿野ふるさとミュージカル「踊り見の城」制作上演事業	
本年度要求額	3,200	【事業期間】 ※上演期日 平成31年8月11日	
総務部長段階査定額	3,200	【事業場所】 鳥取市民会館	
市長段階査定額	3,200	【事業主体】 鹿野町民音楽祭実行委員会	
		【総事業費】 4,500千円	
区分	本年度予算額	【事業実績】	
財源内訳		入場者数	会場
国・県支出金	0	H28年度 3,200千円 502人 (1回公演)	鳥取市民会館
地方債	0	H29年度 3,200千円 528人 (1回公演)	鳥取市民会館
その他	712	H30年度 2,650千円 660人 (1回公演)	鳥取市民会館
一般財源	2,488		
計	3,200		
行財政改革課処理欄		※その他の財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

支所029	項目名	青谷オープン卓球大会補助金	新規事業
予算書項目	地域振興対策費	ページ	173
年度	H31	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 「卓球のまち青谷（昭和60年わかとり国体卓球競技会場）」「卓球の青谷高校（インターハイ30回出場）」として名をはせた「卓球」を青谷町の資源として再認識することが必要である。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 青谷オープン卓球大会を開催することにより、鳥取市内の中学生に広く卓球実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な中学生の育成を目指す。また、青谷高等学校（卓球部OB等）、地域住民など地域を挙げて大会の企画運営にかかわることにより、地域活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 近県（鳥取県以外）の中学校で、各府県卓球連盟から推薦を受けたチームと青谷中学校、鳥取県選抜チームを対象とした男女別の団体戦リーグ戦を行う。また、卓球の技術向上を目指し、小中高、一般向けの講習会を実施する。		
前年度当初予算額	400	平成28年度決算額 500千円 参加チーム数 男12 女11	
本年度要求額	400	平成29年度決算額 500千円 参加チーム数 男11 女9	
総務部長段階査定額	400	平成30年度決算見込額 400千円 参加チーム数 男11 女9	
市長段階査定額	400	その他財源の内訳	
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	400	寄付金	0
計	400	繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所030	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	H31	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 ◆青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々の活動を青谷地域全体の取り組みとするため活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。		
目 企画費	◆青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、市民の和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示紹介するPR事業を行う。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 青谷地域づくり連絡協議会が重点的に取り組む地域振興事業に対して補助をする。また、和紙工芸グループの協力による因州和紙PR事業を実施する。		
前年度当初予算額	1,324	【事業の内容・実績】	
本年度要求額	1,226	◆青谷地域づくり連絡協議会事業	
総務部長段階査定額	1,226	①因州和紙活用活動（夢灯ろう点灯事業） ②環境美化運動 ③鳴り砂保全活動	
市長段階査定額	1,226	④ふるさとPR活動 ⑤長尾鼻自然保全活動 ⑥青谷上寺地遺跡学習活動 ⑦池田市交流促進活動 ⑧青谷地域観光基盤整備	
区分	本年度予算額	◆因州和紙PR事業	
財源内訳		28年度決算額 800千円	
国・県支出金	0	29年度決算額 923千円	
地方債	0	30年度決算見込額 1,324千円	
その他	0	その他財源の内訳	
一般財源	1,226	分担金	0
計	1,226	負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

支所031	項目名	青谷上寺地遺跡利活用推進事業費	新規事業
予算書項目	新市域特別振興費	ページ	173
年度	H31	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 青谷上寺地遺跡が平成31年度から整備される計画であるが、これを地域の魅力向上及び活性化を図る良い機会ととらえ、地域力を活用し、史跡を活用したまちづくりを目指す。その手段として、各種ボランティア団体の育成に波及するための事業を実施する。		
目 企画費	【事業の内容・実績】 ボランティア団体育成のため各種講座の開催		
(単位:千円)	平成30年度決算見込額 197千円		
前年度当初予算額	0		
本年度要求額	362		
総務部長段階査定額	342	その他財源の内訳	
市長段階査定額	342	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	342		
計	342		
行財政改革課処理欄			

支所032	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金	新規事業
予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253
年度	H31	所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 商工費	【10次総の施策体系】3202		
項 商工費	【事業の経過及び背景】 平成28年度から因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的として定期的なイベント等に取り組んでいる。		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 地域の活性化を図るため、次の2項目を目指す。 ①伝統産業である因州和紙の更なる産地強化 ②海山の豊かな自然産物等を利用して各種団体と連携した定期的なイベントを開催し、まちなかに賑わいを取り戻す。		
(単位:千円)	【事業内容・実績】 実行委員会補助 ①「青谷因州和紙産地強化事業」 事業場所：あおや和紙工房、日置地区公民館周辺 ほか 事業概要：因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭、手漉き和紙保存事業 ②「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」 事業期間：6月から12月（年6回） 事業場所：青谷駅前 通称：青谷賑わい広場（青谷ようこそ館前）、夏泊漁港、かちべ伝承館 他 事業概要：青谷町内外で生産、加工された製品の販売・試食等 有志及び園児、生徒、学生によるパフォーマンスなど 28年度決算額 3,016千円 29年度決算額 2,925千円 30年度決算見込額 2,850千円		
前年度当初予算額	2,850	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
本年度要求額	2,850		
総務部長段階査定額	2,850	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,850	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	812
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	812		
一般財源	2,038		
計	2,850		
行財政改革課処理欄			

支所033	項目名	青谷ようこそ夏まつり事業費	新規事業
-------	-----	---------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	253
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	H31
----	-----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)

前年度当初予算額	950
----------	-----

本年度要求額	950
--------	-----

総務部長段階査定額	950
-----------	-----

市長段階査定額	950
---------	-----

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	950
計	950

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011

【10次総の施策体系】3202

【事業の経過及び背景】
「あおやようこそ夏まつり」は、平成31年度で22回を迎え、多くの地域住民に認知され親しまれる青谷地域を代表するイベントとなっている。

【事業の目的及び効果】
青谷町及び西いなば全体の観光振興及び商業振興を目的とし、交流人口の増加や地域振興につなげる。

【事業の内容・実績】
 (1) 事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会
 (2) 内 容 ステージイベント、屋台などの会場イベント
 (3) 実 績
 平成28年度：入場者実績 3,000人 決算額 1,000千円
 平成29年度：入場者実績 3,000人 決算額 1,000千円
 平成30年度：入場者実績 3,500人 決算見込額 950千円

